



わかばやし しげお
若林志津子 議員
(日本共産党議員団)

公園に健康器具の設置を

若林 市が平成28年に実施した市民アンケートでは、公園に対する要望が多い。「公共施設が優先的に維持や充実していくべき機能」では災害時の避難場所・防災活動が82・6%で、次が「介護・生活支援など高齢者の暮らしを支える機能」が45・5%となっている。また、国土交通省が3年ごと実施する公園の遊具等の安全管理の調査結果では、健康器具(※)は、増加の割合が高くなっている。健康器具を市の公園へ設置するよう望む声が高齢者・婦人から上がっている。設置について見解を伺う。

環境部長 高齢者の暮らしを支える機能について、公園は散歩・体操・グラウンドゴルフ・ゲートボールなどの場として利用されている。公園の整備・充実により、高齢者の暮らしを支える機能が向上すると考えている。健康器具は、他市の事例を参考にしながら、老朽化した遊具の更新時や、宅地分譲で整備される公園などへ設置を検討していく。



学校トイレの洋式化の推進を

若林 平成29年4月時点の市内小・中学校のトイレ洋式化率は、小学校で36・7%、中学校は27・8%。洋式化をいつごろまでに何%とするのか。また、金額はどのくらい見込んでいるのか。

教育部長 トイレの改修工事は、年1校1棟単位で行い、内装・給排水管も同時に改修している。いつまでに何%とする計画はないが、早期の完了を目指していく。総額は概算で約23億9千万円を見込んでいる。

その他の質問 クーラーの設置についても、早急な設置を要望しました。

※健康器具＝誰でも気軽にストレッチをしたり、体のツボを刺激したり、筋肉を鍛えたりなど、日常生活での健康づくりを主な利用目的とした器具。



てしま こうじ
手島皓二 議員
(富岳会)

平成30年度予算編成方針と来年度の市政運営について

手島 毎年、来年度予算編成に際して市長名の「方針」と財政部長名の「通知」が出される。その中から来年度の市の基本的な考え方とされる①先進的な業務改革、②行政サービスの効率化、③財政規律、④創造力みなぎるまちづくりの産業施策、⑤財政運営の検証について、特に、将来の景気変動に伴う市の財政運営の観点から伺う。

財政部長 国は地方に財政改革の一環として、地方行政サービスの改革を求め、その成果を指標化して地方交付税をはじめとする国庫支出に反映させようとしている。これに先進的に対処したい。

手島 現在、戦後2番目に長い緩やかな景気回復が続いて、国も地方も積極的な財政運営をおこなっている。景気はやがて変動する中で、税収減も含めて中長期的な行政運営が求められる。

民間の寄附で公共施設建設を促進する方策(その2)



▲卒業生の篤志の寄附で整備された北山小学校のプール

手島 過去2回、民間の寄附による公共施設の建設促進をたどした。長寿命化計画で施設の延命を図るが、今後40年間で3,700億円も必要とされる。資金調達の一環として、ふるさと納税や現行の基金条例を活用、または新規化、例えば、特定の小学校の建てかえに卒業生や地域住民、父兄や生徒たちが自ら建設の一翼を担う寄附を制度化する検討ができないか。

企画部長 基金の創設は法的に特段の問題はない。現行の基金条例でも対応できるか検討する。将来的な公共施設の整備に、この提案を含めて検討を進めたい。

市長 いろんな角度から検討したい。